

消化器内科もしくは消化器外科に通院・入院されていた患者さんまたは
ご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名]

膣空腸吻合部狭窄に対する治療:バルーン内視鏡下治療から超音波内視鏡下治療への順次的移行戦略

[研究責任者名・所属] 栗谷 将城 光学医療診療部/消化器内科 講師

[研究の目的]

当院での膣空腸吻合部狭窄(PJAS)に対するバルーン内視鏡下治療および超音波内視鏡下治療の臨床成績から、その有用性と限界を明らかにすること。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2018年1月1日から2021年11月30日の間に、PJASに対してバルーン内視鏡下治療あるいは超音波内視鏡下治療を施行した方。

○利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、血液検査、画像検査、既往歴、内視鏡下ドレナージ術を施行した際の治療内容、処置時間、偶発症

[研究実施期間] 実施許可日～2022年5月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 光学医療診療部/消化器内科 担当医師 栗谷 将城

電話 011-716-1161(内線 5918) FAX 011-706-7867